

【生坂村】 1人1台端末の利活用に係る計画

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	個々の理解度や学習ペースに合わせて児童生徒の実態に応じた学習計画に基づいて学びを進める。併せて、広域的に児童生徒や地域の方々とオンライン等でつながり、多様な他者と協働することを通して、自らの課題解決に向けて探求していくことで「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す。
②GIGA第1期の総括	令和2年度末までに、小中学校において通信ネットワークの整備、併せて1人1台端末の整備を行った。また、「個別最適な学び」を進めるとともに電子黒板等の導入によりオンラインを利用した小中学校間及び他校との交流を実施し「協働的な学び」を行った。教職員間でICTの利活用に格差があるため、全教職員のICT活用指導力の向上を目指し、全ての授業や校務において積極的にICTの活用が図れるよう研修等の充実に努める。
③1人1台端末の活用方策	【1人1台端末の活用】 児童生徒の1人1台端末の環境を引き続き維持していくため、適切な環境整備に努める。また、クラウドの活用など学校外や家庭での利活用を積極的に行っていく。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 児童生徒が自分で調べる場面や自分の考えをまとめ発表する表現する場面、また他校の児童生徒とのつながりや情報共有など一体的な充実を図る。 【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 全ての児童生徒が平等に誰ひとり取り残されることのない学びの場が持てるよう、オンライン環境の整備や家庭での通信環境(レンタルなど)を充実させていく。